

「特認校制度」に向けて

校長 瀬戸 広美

南砺市では、令和5年度に全ての小・中・義務教育学校において「特認校制度」が導入されます。「特認校制度」とは、自分の校区外の学校で学びたいと希望する児童生徒・保護者のニーズに対応し、特色ある学校を選んで入学・転学できるという制度です。9月には学校紹介動画が公開され、10月に募集案内が配布され、11月に募集の申込受付が開始されます。

「特認校制度」の導入に伴い、本校でも特色ある教育活動をPRするために学校紹介動画を作成しました。少人数できめ細やかな支援をすること、地域の特色を生かし個性を磨く9年一貫教育を行うことを打ち出しました。動画には、子供たちの笑顔あふれる活動の様子が盛りだくさんです。その内容の一部を紹介します。

「笑顔があふれ、さわやかな挨拶が響き合う学校『チームつばき』」

☆みんなが主役……みんなが認められる みんなが活躍できる学校

全校で取り組む委員会活動 縦割り活動

☆自分で決める……1～9年生全員が自分見付けをする「自学の時間」

教科や学年の枠を越えて主体的に活動

☆世界に羽ばたく…グローバルな視野 外国語教育の充実

1年生から始める外国語活動 5・6年生ハワイオンライン交流



学校紹介動画は、9月にTSTの番組とYouTubeで公開されますので、ぜひご覧ください。義務教育学校開校2年目も子供たちと共に教職員が一丸となって、特色ある教育活動を進めております。県では「富山アラート」が9月6日まで延長されることになりましたが、2学期も子供たちの健康・安全を最優先に、緊張感をもち感染対策を徹底していきます。保護者の皆様や地域の皆様には、今後とも南砺つばき学舎の応援団としてご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

9月の行事予定

1日 (木) シェイクアウト訓練	17日 (土) アートワーク大会 (アート部美術コース)
2日 (金) クラブ 企業見学 (7、9年)	地区新人大会 (～18日) (バドミントン部)
5日 (月) 壮行会	20日 (火) 行燈づくり (色付け)
6日 (火) 語学研修 (9年) (～8日) 校外学習 (1、2年) 校外学習 (3年)	21日 (水) 小教研のため午後放課 (1～6年)
9日 (金) 地区新人陸上大会 (7、8年)	24日 (土) 数学検定 南砺っ子商店 [屋内グラウンド]
10日 (土) 市小・中学生科学展覧会 [いのくち椿館] (～11日)	25日 (日) 駅伝試走
12日 (月) 集金振替日	26日 (月) 避難訓練 (不審者)
14日 (水) 委員会	27日 (火) 校外学習 (5、6年)
15日 (木) アルミ缶回収 校外学習 (6年)	28日 (水) 壮行会
16日 (金) 行燈づくり (蟬引き) 研修会のため、 1～4年は5限後放課 5～8年はノ一部活動 (バドミントン部を除く)	29日 (木) ふるさと学習 (1～6年)
	30日 (金) 誕生会食 クラブ 英語検定 中間考査範囲表配布 (後期課程)

新型コロナウイルス感染状況等により、
変更する場合があります。



- ・第33回富山県ジュニアバドミントン選手権大会
4年男子ダブルス 準優勝
- ・令和4年度富山県民体育大会 バドミントン競技
中学男子 1位
- ・第15回やまちゅうダブルス交流会 小学生の部
Iの部 3位
Cの部 準優勝
Dの部 準優勝
Jの部 3位
- ・しゃくなげ賞第16回南砺市少年サッカー大会
2位
- ・第三十回砺波地区中学校文化連盟意見発表部門「中学生の主張」大会
優秀賞
- ・第43回北信越中学校総合競技大会 バドミントン競技
男子ダブルス 1位
(全中出場)
- ・第33回富山県ジュニアバドミントン選手権大会
男子シングルス 1位
(全国ジュニア選手権出場)
3位
男子ダブルス 1位
- ・中学生清流展 入選



～子供たちの活動の中から～

「自分の考えを伝えて、みんなで解決するために」(3年生)

3年生では、朝の活動や休憩時間などでリレーションやイニシアティブゲームを行っています。これらのゲームは、グループ内で意思疎通を図り、協力し課題を解決していくものです。自分の考えを伝えなければゲームをクリアすることができないものばかりなので、自然に互いにアイデアを出したり意見を出したりします。

「これを作るなら、この方法がいいんじゃない?」「ああ、そのやり方があったか!」とアイデアを出したり共感したりする姿や「ぼくはこっちに行くから、君はそっちをお願い。」「それは難しいからこっちがいいんじゃない?」と目的達成のために役割分担をする姿、「ぼくは〇〇だと思う」「う～ん…だったら、△△ということなのかな?」などと相手の思いを想像して話し合う姿がたくさん見られました。

様々なゲームを体験する中で、自分の思いを出し合って、仲間と一緒に課題を達成する楽しさを感じることができました。このような経験を生かして、様々なことにみんなで挑戦してほしいです。

